



2011年3月10日

日産自動車株式会社
株式会社大京

ルノー・日産アライアンスと大京グループ 分譲済みマンションにおける電気自動車充電インフラに関する実証プロジェクトの成果を発表

日産自動車株式会社(本社:神奈川県横浜市西区 社長:カルロス ゴーン)と株式会社大京(本社:東京都渋谷区 社長:山口 陽)は10日、既に分譲されたマンションでの電気自動車充電に関する実証プロジェクトの成果を発表しました。本プロジェクトでは、①管理組合の合意形成について②工事の可否について③利活用についてを実証いたしました。両社は2010年8月、低炭素・循環型社会の実現に向け、互いに連携して取り組んでいくことに合意し、本プロジェクトを進めてきておりましたが、このほどその成果がまとめたものです。

本プロジェクトでは、大京グループのマンション管理会社である株式会社大京ステージ(本社:東京都渋谷区 社長:益田 知)の管理受託物件(横浜市内280物件)の管理組合に対して参加を呼びかける公募を行い、厳正な選考により2物件を選定いたしました。この物件にてインフラ設置の協議を進めた結果、1物件について、充電専用の1区画を電気自動車充電インフラ設備設置とする議案が管理組合総会で決議され、居住者自らの要望並びに費用負担により、充電インフラが設置されました。現在は、日産が提供する電気自動車(EV)「日産リーフ」を実際にご利用いただき、マンションにおけるEVの利活用の実証を行っております。

なお、大京グループと日産は、EVを広く普及させていくために、本プロジェクトで得られた成果を神奈川県基礎充電インフラ整備研究会等で公表してまいります。

具体的な取り組み成果は下記のとおりです。

1. 物件決定のプロセス

| | |
|--------------|---|
| 2010年8月初旬 | 横浜市内で大京ステージが管理を受託している280物件の管理組合理事長に公募案内送付 |
| 2010年8月中旬 | 公募締め切り。申込総数45管理組合 |
| 2010年9月1日 | 厳正なる審査の上、1次審査通過管理組合理事長に1次通過通知 |
| 2010年9月初旬～ | 各種調査 ①管理組合理事長ヒアリング ②居住者アンケート実施 ③建物現地調査 |
| 2010年9月末 | 大京グループおよび日産で厳正なる審査をもとに物件選定会議実施 |
| 2010年10月1日 | 最終選考2管理組合に通過通知 |
| 2010年10月～ | 管理組合理事会と協議 |
| 2010年12月 | 管理組合総会にて決議 |
| 2010年12月末 | 充電インフラ設備工事完了 |
| 2011年1月初旬～中旬 | 充電時安全確認検査 |
| 2011年1月下旬～ | EV「日産リーフ」を利用して実証開始 |
| 2011年3月10日現在 | 実証中 |

2. 物件選定における実証内容

一 物件概要および設置概要

所 在 地： 神奈川県横浜市青葉区
住 戸 数： 33戸
駐車場区画数： 21区画
駐車場形態： 全区画機械式駐車場(単純昇降式)
空き区画： 2区画
築年数： 11年
充電インフラ： 2区画ある空き区画のうち、1区画を対象

一 管理組合および理事会の協議論点

- ① EVの普及について
- ② 充電インフラ区画の運用方法について
- ③ 電気料金の課金について
- ④ 工事費について
- ⑤ 安全対策について
- ⑥ その他(理事会、居住者の不安内容の解決方法について)

一 EV利活用実験(居住者に現在使用中のガソリン車からEVに乗り換え)

- ① 機械式駐車場での充電作業の検証
- ② 充電利用状況の検証
- ③ EVの利便性と商品性の評価

本実証を行うことにより、充電の安全性を確認すると共に、マンションでの充電を基本としながら、EVならではの利便性を活かしての新しいモビリティライフをお客さまに提供できることを目指していきます。

3. 充電インフラ設置決定の要因

上記の管理組合および理事会と協議結果および利活用実験の検証より、

- ① 時代の変化への対応について居住者の意識が高かったこと
 - ② 居住者の検討をサポートする体制が整えたこと
 - ③ 安全配慮等の納得性の高い設置計画を提示できたこと
- などが、決定の要因になったと推測されます。

日産は、ゼロ・エミッション車でリーダーになることを目標に、低炭素化社会の早期実現を目指し、アライアンスパートナーであるルノーとともに90件を超える世界各国の政府や自治体、企業とのゼロ・エミッションモビリティに関するパートナーシップを締結しているほか、充電サービス・インフラの整備、EV用リチウムイオンバッテリーの2次利用、リサイクルの推進などさまざまな分野における包括的な取り組みを行っています。今回の実証実験は、住居形態や駐車場形態を問わず、全てのお客さまにEVをお届けしたいとの思いから、取り組みを開始しました。今後は、本プロジェクトを通して得られた充電インフラ設置に関するスキームを活かし、マンションにおけるEVおよび充電器の運用上の課題とその解決策をさらに検証していきます。

大京グループは、環境配慮型マンションの推進、将来的なマンション居住者の利便性向上、EVの普及を促進するため、既に2010年4月以降着工するライオンズマンション・シリーズにおいて、各物件の全駐車場区画の10%程度に充電インフラを設置する方針を掲げております。今回の実証実験を通して、既存物件も含めたマンションにおける充電インフラ設置を更に加速し、低炭素社会の早期実現に貢献していきます。

以上

【問い合わせ先】

日産自動車株式会社 国内企業広報部 TEL:045-523-5521
株式会社大京 グループ経営企画部 広報・IR室 TEL:03-3475-3802